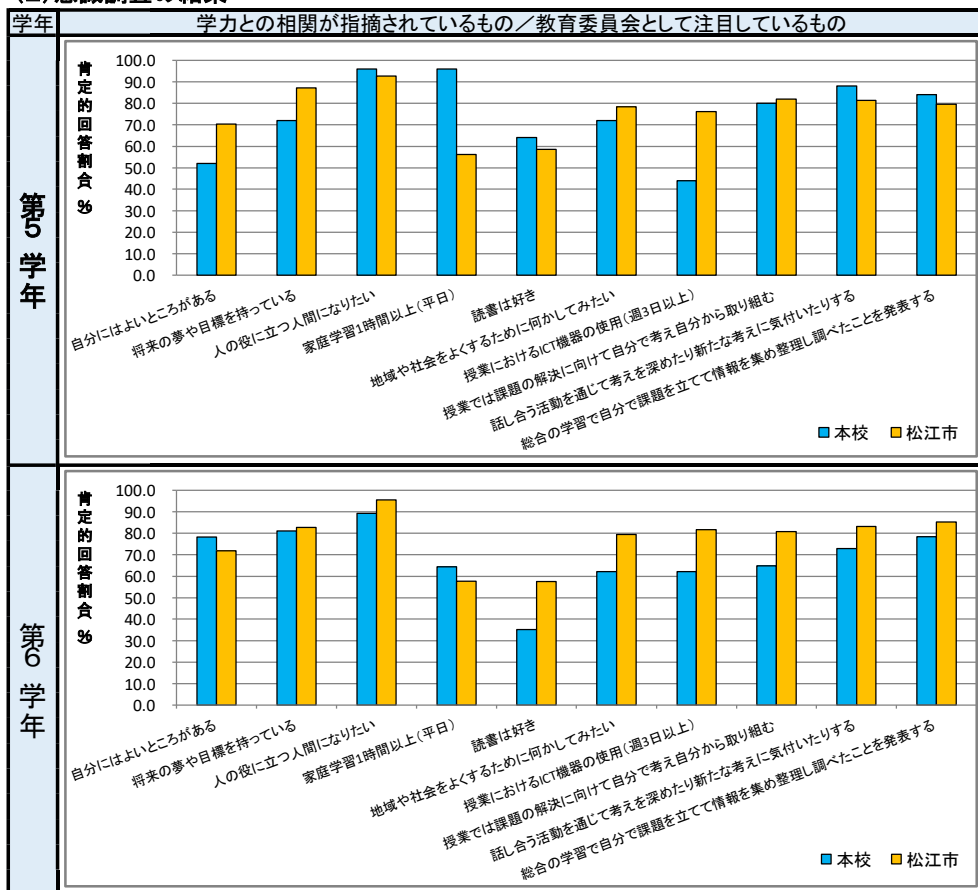


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(・)
第5学年	国語	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「目的や意図に応じて話す・聞く」の項目で全国推定値を上回っている。日頃から、児童の発言を互いにつなげあうことで、思考を深める学習を行っている成果と考える。</li> <li>○説明文の読み取りについて、全国推定値は若干下回ってはいるが、高い数値となっている。説明文の内容を、その構造から丁寧に読み取らせている成果と考える。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物語を読むことについて、正答率が全国推定値を下回っている。登場人物の行動について、描写をもとに捉えることに課題がある。</li> <li>●言葉の学習「漢字の由来」「対義語」についての正答率が、全国推定値を下回っている。</li> </ul>	<p>語彙力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を活用した、言葉の意味調べや言葉の言い換えにより、言葉への関心をもたせる。</li> <li>・インプットした語彙をアウトプットする学習課題への取組を強化</li> </ul> <p>物語や説明文の読解力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中から根拠を見つけ、内容の理解を深める学習をさらに行う。</li> </ul>
	算数	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○整数(約数・倍数)の正答率が、全国推定値を上回っている。基礎的な事項について繰り返し定着を図っている成果と考える。</li> <li>○図形(体積・合同な図形の性質)の正答率が、全国推定値を上回っている。図形をイメージしやすいよう工夫したり、操作活動を取り入れたりとしている成果と考える。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小数のかかけ算(乗数に空位あり)の計算の正答率が、全国平均値を下回っている。</li> <li>●小数倍の文章問題(比較量を求める)を解くために除法の立式をする問題の正答率が、全国平均値を下回っている。文章を正しく読み取り、立式をすることに課題がある。</li> </ul>	<p>基礎・基本の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を明確にしたドリル学習への取組を強化する。</li> <li>・計算の手順を正しく理解させ、確認するポイントを示すことで、より正確にできるようにする。</li> </ul>
第6学年	国語	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書くこと(図表を用いて自分の考えが伝わるよう書き方を工夫)の項目で全国推定値を上回っている。</li> <li>○物語を読むことについて、市の正答率を上回っている項目が多い。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉の学習「文の接続」「熟語の成り立ち」「漢字」についての正答率が、全国推定値を下回っている。</li> <li>●説明文の読み(目的に応じて文章と表を結びつける)の正答率が、全国推定値を下回っている。</li> </ul>	<p>語彙力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を活用した、言葉の意味調べや言葉の言い換えにより、言葉への関心をもたせる。</li> <li>・インプットした語彙をアウトプットする学習課題への取組を強化</li> </ul> <p>物語や説明文の読解力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中から根拠を見つけ、内容の理解を深める学習をさらに行う。</li> </ul>
	算数	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○円の面積を求める式を選んだり、点対称な図形を選んだりするなど、公式や図形の定義を理解することができている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●分数のかかけ算・わり算や、体積を求めることに課題がある。立式はできてもその後の計算を正しく行うことが苦手の児童が多い。</li> </ul>	<p>基礎基本の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を明確にしたドリル学習への取組を強化</li> <li>・計算の手順を正しく理解させ、確認するポイントを示すことで、より正確にできるようにする。</li> </ul>

(2)意識調査の結果



**<傾向と今後の対策、分析>**

**成果○:強み/伸ばしたい点 について**  
**課題●:弱み/改善を要する点 について**

**【第5学年】**

- 家庭学習の定着が図られている。
- 読書が好きな児童の割合が、市平均を上回っている。
- 自分にはよいところがあると答えている児童の割合が約半数と低い。
- ICT機器の使用割合が低い。

今後の対策

- ・目的に応じたChromebookの有効的な活用方法を検討する。

**【第6学年】**

- 家庭学習の定着が図られている。
- 自分にはよいところがあると答えている児童の割合が市平均を上回っている。
- 読書が好きと答えている児童の割合が低い。

今後の対策

- ・多教科にわたって学校図書館を積極的に活用し、本の良さを児童が実感できるようにする。

**【R7学力調査受検者数】**

第5学年	25	名
第6学年	38	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示